

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)	◎	商店街（代表者）	・夏祭りの開催に景気は上向く。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・インバウンドを軸に、お盆を含む夏休み期間、秋口の先行予約が新型コロナウイルス感染症発生前、前年のいずれと比べても好調である。
	○	商店街（代表者）	・7月に商店街に隣接した大型商業施設がオープン予定で、新型コロナウイルス感染症発生前のにぎわいが戻ると見込んでいる。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・定額減税の効果が現れるとみている。また、暑くなると景気が良くなる業種のため、天候次第で良くなるとみている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・梅雨明け後も気温が高い日が続けば、ピヤガーデンなども前年よりにぎわいをみせるのではないかと期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・夏場は来客数も増えるし、祭りもあるため売上も上がる。しかし、人手が足りず、人を増やすと利益が減る。人手を確保できるかも不安である。何とか夏場で多少なりとも蓄えておかないと冬を越せない。常に不安しかない。
	○	コンビニ（経営者）	・雨の日が少ないため人の動きが良い。今後も同様の状況が続くと予想しており、景気はやや良くなるとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・気温の上昇とともに来客数も増加すると見込んでいる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・暑い日が続くと予想され、人の動きが活発化し景気が良くなるとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き、インバウンドが徐々に増えて来客数が増えるとみている。また、前年よりも暑くなると予想され、飲料を始め、冷たい商品は例年よりも販売量が増加するとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・物価高騰への慣れがみられるものの、個人消費の抑制は継続すると予想している。
	○	衣料品専門店（店長）	・仕入価格が高騰し、割引額を抑えて提供しているため、売上が減少している。しかし、数か月後には客はこの状況に慣れて、売上は回復するとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・決算期に入るため客の購入意識が高まるとみている。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしている。受注量が回復しているため、売上も増加するとみている。
	○	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・若いときから将来を見越して住宅を購入する人が増えている。高額マンションの値上がりを見越して、いずれ売ることを考えて購入している。この状況はしばらく続くとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・今月は公務員、来月は民間のボーナス時期である。物価高で出費を抑えなければいけないと思っても、実際現金が入れば財布のひもは緩む。景気は段々良くなるとみている。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・定額減税が実施されるが、その影響で客が増えることはないともみている。
	○	観光型旅館（スタッフ）	・海水浴シーズンとなるため、売上が伸びるとみている。
	○	旅行代理店（従業員）	・東北は夏祭り期間に大きな需要があり、特に最も客の動員数の多い祭りでは、宿泊及び観覧席の販売量が前年比では大きく伸びている。新型コロナウイルス感染症発生以前の水準まで戻ると予想している。
	○	旅行代理店（従業員）	・当社契約施設の先行予約の3か月見込みが前年比105.5%となっている。
○	旅行代理店（従業員）	・国内旅行を中心に問合せ件数が伸びている。9月の2度の3連休を含めて予約状況も良く、上向きの傾向がみられる。	
○	タクシー運転手	・夏休みにかけてタクシー利用客は多くなるとみている。特に週末はコンサートやイベント等の開催が多く、また、温泉街を訪れる客も多数いるため、客単価が増える。景気は上向くとみている。	
○	通信会社（社会貢献担当）	・新機種発売で上向きになると予想している。	
○	テーマパーク（職員）	・1番の繁忙期となるため、来客数、販売数が共に伸びるとみている。	

○	競艇場（職員）	・ 来場促進策の一環として7月から毎月イベントを企画している。客単価の上昇が厳しいなか、来客数やリピーターを増やすことで売上増加を見込んでいる。
○	美容室（経営者）	・ 上場企業における夏のボーナスの大幅アップで、少しでも消費拡大の恩恵があることを期待している。
○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ 特に懸念材料はない。このまま秋までは好調が続くとみている。
○	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・ 住宅設備機器はエアコン工事の問合せがピークを迎え、リフォームは熱中症対策の断熱工事の問合せが増えるとみている。一方で、生活必需品の価格高騰が進み、節約志向が高まるとみている。
□	商店街（代表者）	・ 今月の売上はこれまでで最低である。7月8月の予約状況をみても良くなる見込みはなく、同様の状況が続くとみている。
□	商店街（代表者）	・ 大きな祭り等は復活しているが、身近なイベントは復活していない。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・ 大きく変わることはないとみている。
□	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	・ 円安により夏物の価格が上がっている。客は値段に一層敏感になっている。
□	百貨店（企画担当）	・ マス顧客向けの施策から転換し、識別顧客へのアプローチを強化することで、客単価の上昇を図っている。
□	百貨店（催事担当）	・ 秋に向けて引き続き改装オープンが控えている。全館の来客数向上施策と併せて、来客数は引き続き伸びると見込んでいる。
□	百貨店（従業員）	・ 物価高が解消されないなかで、食料品を始め生活必需品の節約志向は続くとみている。改善の見込みはない。
□	スーパー（経営者）	・ 定額減税や官公庁のボーナス増加、電気・ガス代の負担軽減策の再開などが期待されるが、一時的なものであり、物価高騰は避けられず、消費生活が改善するほどの効果はない。まだまだ消費の低迷は続くとみている。
□	スーパー（店長）	・ 定額減税などの対策は打たれているが、食費に回す金は減っている。
□	スーパー（店長）	・ 来客数、売上共に横ばいの状況が続いている。
□	スーパー（店長）	・ 集客対策のための販売促進策の見直し等を行うことで、多少上向き基調になるとみているが、天候や気温、競合環境などの外的要因もあり予想は難しい。
□	スーパー（店長）	・ 可処分所得が増加する要因がない。
□	スーパー（企画担当）	・ 野菜などの価格高騰や電気料金の値上がりなどにより、販売量が低迷しているものの、売上は値上げした分、それほど悪くない。この状況はしばらく続くとみている。
□	スーパー（企画担当）	・ 外食やレジャーへの支出が増加する一方で、内食需要は節約志向が続くとみている。商品価格の上昇や人件費の増加、公共料金の値上がりが続くなか、競合他社もポイントサービスや特売価格の引下げを行っており、競争が更に厳しくなるとみている。
□	スーパー（営業担当）	・ 来客数の前年割れの状況は変わらない。猛暑の予報により、飲料は伸びるが、料理を簡単に済ませる人が多くなり、食材の動きは鈍くなると予想している。よって、売上は伸び悩むとみている。
□	コンビニ（経営者）	・ 天候次第であり、晴れの日、猛暑日が続けば期待できる。しかし、売上が横ばいかそれ以下であれば、この先は悪くなる。
□	コンビニ（経営者）	・ 当地の主産業である果実の不作の影響が大きい。当面は注視する必要がある。
□	コンビニ（店長）	・ 景気が上向き要因がない。季節的に人の動きは良くなるが、根本的な解決には至らない。
□	コンビニ（店長）	・ 物価の上昇により、客は必要最低限のものしか買わない。来客数は前年比90%まで下がったが、客単価が同100%を上回っている状況から、どう良い方向にもっていくかが課題である。
□	衣料品専門店（経営者）	・ 仕入価格の高騰で利益が減少しており、販売価格の設定に苦慮している。祭り用品の売上に期待している。
□	衣料品専門店（店長）	・ 前年と同様暑くなるとの長期予報が出ているため、ふだん着需要はある程度見込める。しかし、ビジネスや旅行向けの需要が増加しないと状況は変わらない。

<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・電気料金や円安による物価の上昇など、生活不安により節約志向が強くなっている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・本来、シーズン中は売上増加が期待できるアウトドア、ゴルフ用品が振るわない状態になっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・物価の上昇に備えて、客の購買行動が慎重になっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・オーダー停止の車がほとんどなくなったにもかかわらず、個人の消費が伸びていない。今後も良くなることはなく、変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車の受注は好調だが、納期が来期にずれ込むため、今期の売上は見込めない。既存の車種は変わらず推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・再度、作業工賃等の見直しをしないと利益が得られない。徐々に値上げするか、一気に値上げするか選択が悩ましい。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	・物価の上昇や人手不足等の要因が悪影響を及ぼしており、今後の見通しが立たず、厳しい状況が続くとみている。地方では回復要因が見当たらないため、県外の販売ネットワークのない地域への販路拡大を進めている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・夏物の動きが全く予想できないため、今後需要が高まっても在庫の問題で供給ができない可能性がある。また、事務服の簡素化が一層進み、ブラウスからポロシャツなどに変わりつつある。その影響で単価は下落し、ネットでの購入が増えている。非常に厳しい状況にある。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・定額減税の効果を期待している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・明確な要因がないまま販売量の減少が続いており、今後も改善の見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・梅雨時期だが好天が多く、気温も高めである。配達灯油の販売も前年割れしており、回復は難しいとみている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・4月以降、商況にブレーキが掛かっている。電気代を始めとした生活費の上昇により消費者の生活防衛意識が強くなっており、良いものなら高くても買うという客がいなくなっている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・物価の上昇により財布のひもが固くなっているため、外食を控える動きは続くと思われている。予約状況を見ても、芳しくない状況が続くと言わざるを得ない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・社会全体としては良くなるかもしれないが、身の回りの景気は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・マイナス要因が多く、良くなるとは考えにくいとみている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・観光業等の人手不足の影響で需要を取り込めていない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・8月は夏休みやお盆休みで帰省する人たちや夏祭りに来る観光客などの利用が多くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経営者）	・加入促進キャンペーンやパリオリンピックに向けた放送・通信サービスの提供により、一時的に新規加入者数が増加すると予想している。しかし、その後は徐々に減少するとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・景気が好転するような材料が乏しく、変化は期待できない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・物価高は続くので、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・予約状況は前年と変わらない。振り客が増えており、予約が少ない月でも振り客の売上でカバーできる状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・夏の暑さがどう推移するか、物価上昇により家計にどう響くかといった不安要因がある。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・購買意欲はあるものの、物価高のため消費にはつながらないとみている。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・異常気象により農産物や水産物の市場への供給に影響を与えることが心配される。先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・建築設計業界では、1月に業務報酬基準と住宅品質確保促進法施行規則の見直しが行われ、4月には働き方改革への対応を求められているが、官民間わず発注者と業界の感覚に大きなずれが生じている。実運用が進まなければ業界全体の回復は先の話となる。現状、大きな変化は期待できない。

	□	住宅販売会社（経営者）	・客単価の低い戸建て住宅の受注額が低い分を大規模リフォームの受注を多く取ることカバーしている。
	▲	商店街（代表者）	・物価高騰に加え、可処分所得が減少している。
	▲	百貨店（経営者）	・メーカーの環境問題への取組により、衣料品の生産量が少なくなっているため、毎年のセールがパワーダウンしている。また、お中元もメインターゲット層の高齢化により縮小傾向にある。
	▲	スーパー（店長）	・商品等の値上げにより、消費を抑える傾向は続くとみている。
	▲	スーパー（商品担当）	・電気料金の値上がりによるコストの増加が、収益力の低下を招くとみている。
	▲	コンビニ（経営者）	・客単価は前月辺りから下がり始め、今月は前年割れしている。また、買上点数も前年割れしている。週末以外の来客数が伸びないため、今後は厳しい状況になるとみている。
	▲	コンビニ（経営者）	・梅雨入りして天候が悪い日は客足が鈍っている。梅雨明け後は天候次第でどうなるか分からない。
	▲	コンビニ（経営者）	・物価が上がり、売上は厳しくなる。売れなければ値引きをする。値引きした商品しか売れず利益が少なくなるという、負のスパイラルになる。客は安いものしか買わない。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・秋物が立ち上がる時期になるが、厳しい残暑で苦戦することが予想される。
	▲	家電量販店（従業員）	・気温が下がって季節商材の販売が落ち着き、生活・調理家電が新製品に入れ替わる時期に入る。新商品になり表示価格が高くなる分、処分品の販売が多くなる。客単価が下落するため景気はやや悪くなるとみている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・受注停止が解除される車種が増加しない。メーカーから配車供給される車種が固定されてきており、安定しない。
	▲	乗用車販売店（店長）	・大手自動車メーカーの不正問題もあり、全体的に商談件数が低迷している。
	▲	高級レストラン（支配人）	・宿泊予約が少々鈍化している。また、mice需要も夏季は弱い傾向にある。
	▲	一般レストラン（経営者）	・6月から8月はイベントが少ない時期となる。個人客の来店に期待したいが、例年同様、今年よりは悪くなるとみている。
	▲	一般レストラン（スタッフ）	・来客数はランチもディナーも減少している。客層は年配者、小さい子供を連れた家族、富裕層に限られている。物価が上がり続け、使える金がないことがその理由とみている。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・夏休み期間に入るため、受注量が減る見込みである。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・今年の夏は猛暑の予報が出ている。前年は暑くて人が外出しなくなったため、今年も同様に街中はひっそりすると予想している。また、夜の繁華街にも人が出てこなくなるため、売上は下がる一方となる。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・当店は健康や医療上のことについて相談を受けることも業務であるが、金銭的に困っているといった話が混じることが増えている。
	×	スーパー（経営者）	・定額減税が開始され、8月から3か月間、電気・ガス料金の負担軽減措置が実施される。しかし、ガソリン代は高止まりしているため、実質的な可処分所得は伸びないとみている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・円安も進み、国内需要は厳しくなるとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・各業者から値上げの通知が届いている。一般家庭においても、生活に必要な経費がますます増えることが予想される。その状況では消費は必要最低限になる。全体的に景気は悪くなるとみている。
企業 動向 関連  (東北)	◎	農林水産業（従業者）	・これから桃の最盛期を迎える。今年も猛暑の予報が出ているが、暑い年は桃の売上が良好になる傾向がある。
	◎	建設業（従業員）	・生産施設関連の新規受注契約が見込まれる。
	○	食料品製造業（製造担当）	・今後のイベント等でも人流が活発化し売上増加が期待できるが、お中元ギフトの売上は落ちている。売上構成比が変わってくるとみている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・増産の予定が入っており、見積案件も徐々に増えてきている。

○	電気機械器具製造業（企画担当）	・ ai関連の市場が伸びてきており、dramの開発競争が激化していることから、顧客の開発投資意欲は高まるとみている。半導体製造装置メーカーとしては、景気が良くなるとみている。	
○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 一部事業に動きが出ると予想しており、現在よりは良くなるとみている。	
○	建設業（従業員）	・ 来月から大口工事が始まるため、売上増加が期待できる。	
○	建設業（従業員）	・ 受注量が落ち着く状況ではない。	
○	金融業（広報担当）	・ 夏祭りシーズンに向けて、天候の懸念はあるものの、観光、宿泊業関連は好調継続が見込まれる。個人消費も物価高ではあるが祭り期間中は消費意欲が旺盛になるとみている。	
○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・ 夏休みシーズンを迎えるため、人の移動が活性化する。	
□	食料品製造業（経営者）	・ 宿泊費が上昇していることもあり、土産に対する財布のひもは固い。	
□	食料品製造業（営業担当）	・ 新商品を投入したり、販売促進施策を講じたりしているが、好転する気配はない。	
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 物価高騰を給料で賄えなくなっており、消費が明らかに低迷している。	
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 業種の特長やsdgsへの取組など、世の中のペーパーレス化の進展を背景に、新たに柱となる事業を加えなければ改善の余地はない。しかし、疲弊している地方、中小企業にその余力がない。	
□	一般機械器具製造業（経営者）	・ 自動車関連の今後の動向は心配だが、2～3か月後の景気は変わらないとみている。	
□	一般機械器具製造業（経営者）	・ 半導体の需要増加に備え、在庫積み増しの動きが少しずつ出ているが、大手自動車メーカーの不正問題により足踏み感がみられる。	
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・ 大規模案件が一段落したところであり、新規案件の受注見込みは当面ない。	
□	建設業（従業員）	・ 今後も人手不足や物価高騰も続くため変わらない。	
□	輸送業（経営者）	・ 燃油費、車両費、タイヤ費等の高騰はしばらく続く。加えて、人手不足、賃上げによる人件費の増加、主要取引先の減産等もあることから、厳しい経営環境が続くとみている。	
□	通信業（営業担当）	・ 顧客の反応がまだ消極的であり、辛抱強く顧客との接点を探り続けるしかない。	
□	通信業（営業担当）	・ 4月以降、大きな変化はみられない。顧客は購入に慎重になっており、提案から受注まで、今までよりも時間が掛かるようになってきている。	
□	通信業（営業担当）	・ 客観的なデータが取れていないため、変わらないとみている。	
□	広告業協会（役員）	・ 広告業界躍進の起爆剤となる新施設のオープンや大型イベントの開催などの予定がないため、当面は低迷状態が続くとみている。	
□	広告代理店（経営者）	・ 取引先各社の予算が大幅に増減する動きはなく、当初見込みから変化はないとみている。	
□	経営コンサルタント	・ 夏のボーナスに期待している。	
□	司法書士	・ 相続関連業務案件は増加している。一方で、新築住宅案件は減少傾向にある。	
□	公認会計士	・ 全体としての景気判断は製造業の業績に左右されるが、今の段階では回復の見通しが立たない。したがって、やや良い状態で現状維持と判断している。	
□	コピーサービス業（従業員）	・ 定額減税が景気に与える影響は分からない。当社のような企業間取引には影響がなく変わらないとみている。	
□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・ 一部の観光客目当ての店舗には客が訪れている。ここからほかに足を伸ばすようになることを期待したい。	
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・ 半導体関連の受注は思うようには伸びず、後ろにずれこんでいる。一般加工の受注案件数に変化はない。	
▲	農林水産業（従業者）	・ 長期予報では今年の夏も猛暑が予想されており、米の高温障害による収量の減少が予想される。	
×	窯業・土石製品製造業（職員）	・ 公共事業、民間事業共に受注量が減少しており、厳しい状況が続く。	
雇用 関連	◎	—	—
(その他)	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・ 雇用や所得の動きにやや改善の兆しがみられる。

(東北)	○	職業安定所（職員）	・求人数の増加傾向は続くとみている。梅雨が明けて天候に恵まれれば消費も上向き、景気は良くなるとみている。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・人材が欲しいという企業から問合せが増えている。
	□	人材派遣会社（経営者）	・企業の人材採用が思うようにできていないため、事業の拡大や出店に少しブレーキが掛かることを懸念している。
	□	人材派遣会社（社員）	・良い人材を採用したいという企業からの要望は強くなっているが、要望どおりの人材を採用できるところは限定的である。採用の全体数は期待するほど伸びないとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・競合他社などの動向を見ても求人数が減っている状況は同じで、好転の兆しもない。
	□	アウトソーシング企業（経営者）	・しばらくはaiとの仕事の奪い合いが続くとみている。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・好材料が見当たらないため、変わらないとみている。
	□	職業安定所（職員）	・原材料費や燃料費の価格上昇により人件費を増やすことができないことから新規採用が進まず、人手不足が続く状況は変わらないとみている。
	□	学校〔専門学校〕	・日本銀行の金融政策の効果が不透明であり、景気低迷から脱却、経済活動の活性化が見通せない。
	▲	人材派遣会社（社員）	・求人動きが鈍くなっている。長引く円安や物価・原材料価格の高騰等の影響で、企業は慎重になっているとみている。
	▲	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・マス広告の需要減少を食い止める要素が見当たらない。
	▲	職業安定所（職員）	・今春以降、事業縮小や閉鎖する事業所の情報が増えている。
	▲	職業安定所（職員）	・大手自動車メーカーの不正問題に関連して生産を調整している管内の事業所がみられる。
	▲	職業安定所（職員）	・今後も事業主都合による離職者が増えるとみている。
×	*	*	